

## 第 21 回日本独文学会・DAAD 賞選考結果

第 21 回日本独文学会・DAAD 賞が下記のように決定しましたので、お知らせいたします。

### 日本語研究書部門：

二藤拓人：『断片・断章を書く ― フリードリヒ・シュレーゲルの文献学』（法政大学出版社，2022 年）

### 日本語論文部門：

犬飼彩乃：「クレメンス・J・ゼッツ 『ケーフェイと文学』 からみるポスト真実時代の第四の壁」(Neue Beiträge zur Germanistik, Band 20/Heft 2; 『ドイツ文学』 164 号)

### ドイツ語研究書部門：

Megumi SATO：Sprachvariation und Sprachwandel im 18. und 19. Jahrhundert. Untersuchungen zur Kasusrektion der Präpositionen wegen, statt, während und trotz (Heidelberg: Universitätsverlag WINTER 2022)

### ドイツ語論文部門：

Mototsugu KATSURA：Die Heimat eines Heimatlosen. Autobiografisches Erzählen bei Milo Dor (Neue Beiträge zur Germanistik, Band 20/Heft 1; 『ドイツ文学』 163 号)

次の方々に選考委員をお願いしました。（敬称略）

日本語部門 委員長：高橋輝暁

委員：稲葉瑛志，宍戸節太郎，濱中春，眞鍋正紀（DAAD 推薦）

ドイツ語部門 委員長：宮田眞治

委員：黒田享，藤井明彦，Mechthild Duppel-Takayama（DAAD 推薦），Leopold Schlöndorff